

いよいよ春ですね。新年度も頑張らしましょう!!

ご卒業、ご入学おめでとうございます。
『わ・わ・わ通信』の金子わたるです

金子わたるの県政・議会報告 【わ・わ・わ通信】

皆さまにおかれましては、ますます元気にご活躍のこととお慶び申し上げます。

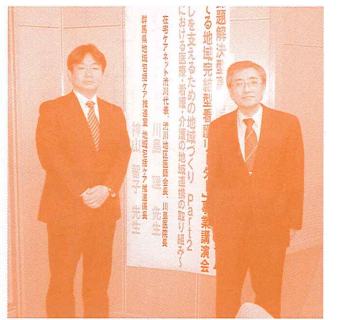
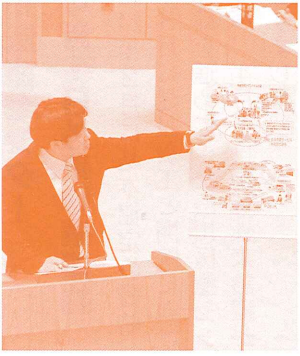
2月22日～3月22日まで県議会が開かれ、子どもたちの学習環境の整備、本県への移住・定住の促進、医療と福祉の連携、TPP発効後の農業支援、観光立県ぐんまの推進、道路整備など、7216億3800万円の平成28年度一般会計予算が決まりました。特別委員会の委員として1年間議論してきた「第15次群馬県総合計画」と「群馬県版総合戦略」のスタートの年となります。さらなる県政発展のために全力を尽くしてまいります。

市も、渋川医療センターが開院し、浅田橋が開通しました。県議会議員として皆さまの意見を聞きながら、元氣なぐんま・しぶかわをつくらせていきます。これからも変わらぬご支援・ご協力・ご助言をよろしく願っています。

皆さまが新年度よいスタートをされますことと、ご健康とご多幸をお祈りいたします。

群馬県議会議員

金子 渡



地域包括ケア講演会
川島渋川地区医師会長と
(群馬大学医学部)

地域包括ケアシステム推進に 連携支援センター設置へ

高齢者がいつまでも住み慣れた地域で生活ができるよう、医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供できる地域包括ケアシステムの構築を進めるために、県は組織改正で担当副部長を配置しました。

渋川地区はH27年度に国のモデル地区に指定されていましたが、28年度は在宅医療と介護の一体的な相談支援体制の充実を図るため「在宅医療介護連携支援センター」を設置し、地区医師会に運営を委託します。



渋川市主催の地域包括ケアフォーラム

H30年吾妻地区に新高校

現在、エアコンが設置されていない県立高校38校の教室に段階的にエアコンを整備します。PTAがエアコンを設置している26校に対しては、H29年6月からPTA負担を県費に切り替えていきます。

また、中之条高校と吾妻高校を統合する新高校は30年4月開校予定で整備を進めます。

小児医療センター外来棟増築 前橋日赤へ建設費補助

小児医療センターの障害児歯科や整形外科の機能強化を図るため、診療室増室などの外来棟増築を行います。

H29年3月からの利用開始予定で、事業費は医療機器や備品の整備も含めて4億8000万円です。

また、新築移転の進む前橋赤十字病院には、県内全域をカバーする救急体制整備などに對して、今年度13億6258万円を補助します。

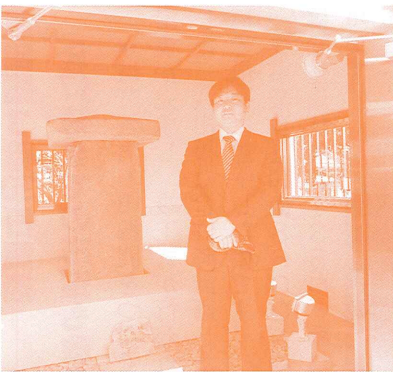


常任委員会での小児医療センター視察

上野三碑世界遺産登録推進 東国文化サミット渋川開催

上野三碑のH29年の世界記憶遺産登録を確実なものにするため、県民運動の醸成や中国・韓国からの支持を受けるためにシンポジウム開催などに取り組めます。

今年5回目となる「古代東国文化サミット」は金井東裏遺跡をメインテーマに、8月28日に渋川市内で開催されます。



多胡碑の現地調査

子ども施策の指令的役割 「子ども未来部」を創設

結婚から出産、子育て青少年施策を強力に推進するために、子ども未来部ができました。

中学生までの医療費無料化、第3子以降の3歳未満児保育料免除、1歳児への保育士加配補助も継続します。



ぐんま子育て祭にて

特定不妊治療助成拡大 初回15↓30万円に

現在実施している特定不妊治療費助成（1回上限15万円）に加え、初回治療の助成拡大（15万円↓30万円）と高度な男性不妊治療費について上乗せ助成（1回上限15万円）を実施します。

今年度予算は2億7765万円です。

誰もが活躍できる 雇用の場と就労の支援

若者や女性、シニアや障害者が活躍できるよう、ジョブカフェぐんまの運営やUターン就職支援、県内企業とのマッチング、働く女性支援などに取り組みます。

障害者就業サポートセンターでは相談員を1名増員します。

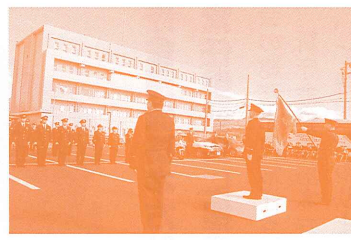


PTA役員としてキャリア教育のお手伝い

群馬県警察官を20人増員

ストーカーやDVをはじめとした、人身の安全に関わる事案やテロ等国際情勢の変化に対応するために警察官を20人増員します。

今回の増員で群馬県の警察官定数は3426人になります。H28年度は全国で警察官994人が増員されます。



H28年渋川警察署初点検

中小企業支援センター設置 ワンストップ相談窓口へ

中小企業が経営支援と技術支援をワンストップで受けられるよう、群馬県産業支援機構（前橋市大渡町）を産業技術センター（前橋市亀里町）内に移転します。

H28年度内に移転し、29年度4月から開所予定です。

1月の大雪被害対策

今年1月18日に降った大雪でハウス等に1億円以上の被害が出ました。国の災害支援適用とならなかったため、県独自の復旧支援事業を適用します。



自宅の宣伝カーも雪に埋もれて



渋川医療センター開院、浅田橋開通、休日保育実施 学校給食費30%公費負担、小野上中学校統合

渋川医療センター 4月1日外来診療開始

H24年2月に基本協定の締結、26年3月に建設着工と開院に向けて整備を進めてきた渋川医療センターが、4月1日から外来診療が始まりました。

地上7階、地下1階の免震構造で450床、23診療科でのスタートです。最新のリニアック(強度変調放射線治療装置)やMRIも設置され、ヘリポートも整備され、北毛地域の基幹病院としての役割が期待されます。

総事業費は149億7800万円、そのうち内市の負担は21億1082万円です。



3月21日 開院記念式典

学校給食費30%公費負担 育児支援で休日保育実施

市は4月から、保護者の経済的負担軽減を図り人口減少対策を推進するため、学校給食費の30%を公費で負担します。第3子以降は無料となります。予算額は1億904万円です。

物価の上昇等により給食費は約7%値上げしますが、地区により異なっていた負担額は統一されます。

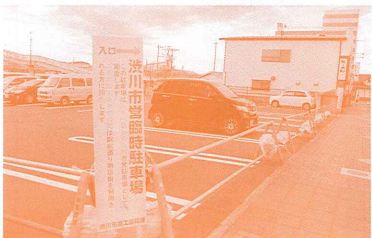
さらに育児支援として、伊香保保育所での休日保育、みつばち保育園の病児・病後児保育の土曜日開設を実施します。



北部給食共同調理場

渋川駅前市営駐車場 8月オープンに向けて

市は中心市街地の活性化を図るため、渋川駅周辺2カ所に市営駐車場を整備します。機器設置による時間貸しで30分無料、1時間100円増、上限1000円、駐車台数は約100台で8月開設の見込みです。



渋川駅前の駐車場整備予定地

浅田橋3月30日開通 R17号までの市道も改良

赤城町敷島く中郷間をつなぐ浅田橋が完成し、竣工式が行われました。浅田橋は合併時計画した6橋で最初に着手した橋です。

総事業費は10億8600万円、橋梁整備は橋長135m、幅員10mです。

国道17号の交差点や赤城側、子持側、それぞれの市道改良工事も行われました。



3月30日 竣工式でのテープカット

赤城西麓土地改良 H27年度補正で3億

県営赤城西麓土地改良事業は旧利根村・昭和村・旧赤城村、旧北橋村、旧富士見村にまたがる2400ha(全19団地)を対象にした想定計画407億1600万円の事業です。

国のH27年度補正で赤城地区は事業費3億1500万円増となり、内訳は北上野地区(28年度完了予定)7500万円、上狩野地区(29年度完了予定)1億4000万円、

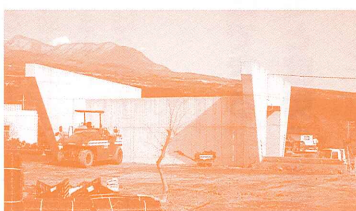


羽場坂地区の竣工式(H24年3月)

上信自動車道 西バイパス用地買収促進

国直轄事業の上信自動車道渋川西バイパス(中村く金井間、5km・4車線)の整備促進に向けて、県が国に代わり道路用地取得に着手します。現在の用地取得率は19%で、H28年度取得予算は20億円です。29年度から4年間かけて国に売却します。

また、金井バイパスは金井東裏遺跡を保存するため金井陸橋の工事が進んでいます。橋長129・5mで、2橋台と2橋脚の下部工事の事業費は2億898万円。29年度中の完成を目指します。



金井バイパス(渋川吾妻線東)

大正橋側道橋架橋工事 H30年3月完成へ

大正橋側道橋はS4年に竣工し、S49年に現在の道路橋(大正橋)が竣工してからは側道橋として利用されてきました。これまで補修工事等で長寿命化を図ってきましたが、老朽化が著しいため掛け替え工事を行います。



下郷側が撤去された大正橋側道橋

赤城デイサービスセンター 地域づくりに活用

H27年度で事業廃止となった赤城デイサービスセンター(ユートピア赤城内)は、渋川市社会福祉協議会の運営で介護予防や子育て支援を目的とした地域づくりに活用します。

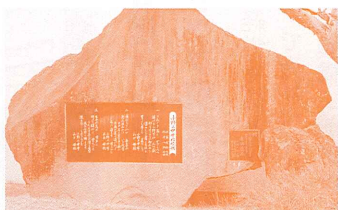
また、ユートピア赤城の指定管理者が、28年度から(株)日本水泳振興会に変更となりました。



地域多世代交流の拠点へ

小野上中学校 子持中学校と統合

生徒数の減少により、小野上中学校が子持中学校と統合となり、3月25日に閉校式が行われました。



校舎東に建つ校歌の碑

渋川市新庁舎整備基本方針 市議会常任委員会に提示

3月市議会の総務市民常任委員会協議会で、新庁舎整備基本方針の策定について説明がありました。

庁内検討委員会では新庁舎の規模は1万7000㎡、総事業費は72億円、場所は未定。整備の時期はH38年度実施設計、40年度に建設工事が最短と想定しています。